

2026年1月6日(火)
北海道エアポート株式会社

新千歳空港にタクシーの「配車アプリのりば」を設置 ～1月15日(木)から実証実験を開始！～

北海道内7空港を運営する北海道エアポート株式会社は、2026年1月15日(木)より、タクシー配車アプリを提供する3社(DiDiモビリティジャパン株式会社、GO株式会社、Uber Japan株式会社)および、千歳地区ハイヤー事業協同組合ならびに、北海道ハイヤー協会と連携し、新千歳空港においてタクシー配車アプリの使用を可能とする実証実験を開始します。

当実証実験は、新千歳空港国内線2か所、国際線1か所の合計3か所に「配車アプリのりばを新たに設置」・「タクシー配車アプリの使用を可能」とすることでお客様の利便性向上を目的としております。また、実証実験において得られたデータをもとに、課題と対策を明確化し、タクシー不足の緩和を目指してまいります。

当社は、今後もお客様のニーズにあった空港サービスの提供に取り組んでまいります。

実証実験概要

- 実施背景：
 - ・ 冬期における新千歳空港の訪日外国人旅行者は、2025年を大幅に上回る見込み
 - ・ 新千歳空港における冬季繁忙期のタクシー不足が顕在化している
 - ・ 2025年4月に公正取引委員会がタクシー等配車アプリに関する実態調査報告書を公表し「利用者のニーズを踏まえ、場所的制約の下でもできる限り円滑にアプリ配車タクシー等に乗車することを可能とするための所要の措置を講じること。」と提言
- 実施目的：新千歳空港において、一定期間、タクシー配車アプリ(DiDi、GO、Uber)の利用を可能とすることでお客様の利便性を向上させ、そこで得られたデータの分析・検討をおこない課題と対策を明確化することでタクシー不足の緩和を図る。
- 実施期間：2026年1月15日(木)～2026年3月31日(火)
- 実施概要：
 - ・ 新千歳空港に「配車アプリのりば」3か所を設定(別紙参照)
 - ・ 実証実験を機に千歳地区タクシーの「DiDi、GO、Uber」の導入台数を拡大
 - ・ 札幌地区等からのタクシー用に一時待機場所として、第2タクシープールを設定
 - ・ タクシー配車アプリの使用により、札幌地区等のタクシー事業者も受諾可能
 - ・ 配車アプリ3社の高度な配車ロジックで「より早く乗れる」対応を行う

別紙

<配車アプリのりば>

- ・新千歳空港に配車アプリのりばを設定

①国内線のりば10A(10番と11番の間)

②国内線のりば18A(17番と18番の間)

③国際線のりば81A(80番と81番の間)

※既存のタクシープールに加えて、札幌地区等のタクシーの一時待機場所として第2タクシープールを設定(後掲「位置関係図」参照 / 札幌地区等のタクシー事業者の帰路を想定)

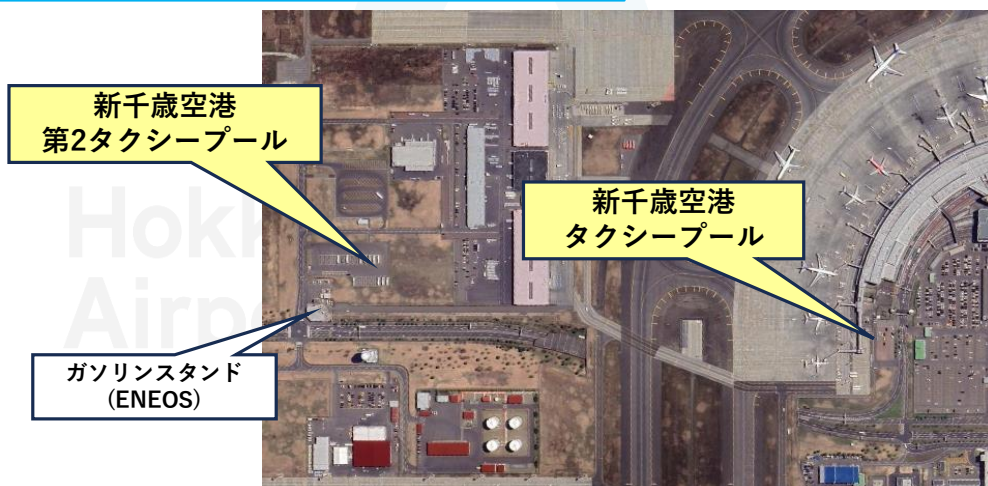
- ・配車アプリのりばは実証実験期間終了後も継続し運用する

※のりばの位置、運用方法は見直す場合がある

配車アプリ専用のりば



新千歳空港全体図（位置関係図）



<本件に関するお問い合わせ>

北海道エアポート株式会社 総務・人事部広報課

0123-46-2990 (代表)